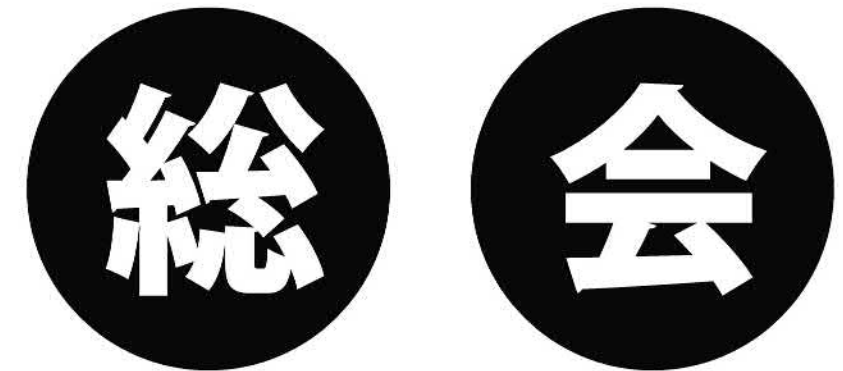


2022 (R4) 年度

特定非営利活動法人

ゆうじんかい

えどがわ悠人会 通常総会



資料

日時：2022年6月17日(金) 午後2時半～

会場：小松川さくらホール

公式ホームページ edogawayujinkai.or.jp

2022年6月18日

edogawayujinkai.or.jp

特定非営利活動法人 えどがわ悠人会

132-0035 東京都江戸川区平井 1-9-6 大徳ビル 1階

TEL & FAX : 03-5626-2998 / E-mail : u2edogawa@ybb.ne.jp

発行

# 目次

次の第1～4号議案は本年度の通常総会において  
すべて承認されました。

(2022年6月17日書面表決の集計及び確認)

## ●第1号議案：2021年度活動報告及び決算報告承認の件

P 4……………活動報告①【本部】

P 5……………活動報告②【悠遊舎えどがわ】

P 6……………活動報告③【第二悠遊舎えどがわ】

P 7～9……………活動報告④【悠歩舎】

P 10～11……………活動報告⑤【YSG】

P 12～14……………決算報告【NPO法人えどがわ悠人会】  
〔財産目録・貸借対照表・決算書〕

## ●第2号議案：会計監査報告承認の件

P 15……………会計監査報告2021(R3)年度

## ●第3号議案：2022年度活動計画(案)及び予算(案)承認の件

P 17……………活動計画案①【本部】

P 18～19……………活動計画案②【悠遊舎えどがわ】

P 20……………活動計画案③【第二悠遊舎えどがわ】

P 21～23……………活動計画案④【悠歩舎】

P 24～25……………活動計画案⑤【YSG】

P 26～27……………活動計画案⑥【悠とピア】

P 28……………予算案【NPO法人えどがわ悠人会】

## ●第4号議案：役員改選(案)承認の件

P 29……………今年度役員改正(案)2022年度

P 30……………職員名簿

P 31……………事業所一覧

## 第1号議案

P 4……………活動報告①【本部】

P 5……………活動報告②【悠遊舎えどがわ】

P 6……………活動報告③【第二悠遊舎えどがわ】

P 7～9……………活動報告④【悠歩舎】

P 10～11……………活動報告⑤【YSG】

P 12～14……………決算報告【NPO法人えどがわ悠人会】  
〔財産目録・貸借対照表・決算書〕

## 第2号議案

P 15……………会計監査報告2021(R3)年度

# 前年度活動報告① 2021年度

## 法人の運営

### 1. 各種事業

#### (1) 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

- ①地域活動支援センターⅢ型“悠遊舎えどがわ”の運営
- ②地域活動支援センターⅢ型“悠歩舎”の運営

#### (2) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

- ①就労継続支援B型事業所“第二悠遊舎えどがわ”の運営
- ②就労継続支援B型事業所“YSG”の運営

#### (3) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

相談支援センター“悠とピア”の準備

### 2. 会議

#### (1) 総会

通常総会：6月17日 さくらホール／臨時総会：3月28日 第二悠遊舎えどがわ

※感染症拡大の為、通常総会・臨時総会は共に書面表決で行いました。

#### (2) 運営委員会

2021年度は、12回運営委員会を行いました。

#### (3) 運営会議等

悠遊舎えどがわ・第二悠遊舎えどがわ・悠歩舎・YSGでは月に1回、利用者とスタッフとで、それぞれの場所に関する運営会議(YSGは運営経営会議)を行いました。

#### (4) 事務局会議

理事と職員との意思疎通を図り、事務処理等を迅速に進めるため、事務局会議を12回行いました。

#### (5) 法人中期計画を考える会

法人の新しい事業を考えるため、7回行いました。生活介護・自立生活援助・ピア活動などについて勉強を行い、まずはそれらを視野に入れつつ、計画相談を始める事になりました。数名のメンバーの方がピアサポーター研修を受講しました。

### 3. 職員研修：定期的に研修を9回行いました。

### 4. 広報“利用者から表現者へ”

#### (1) 映像ワークショップを計13回行いました。

#### (2) 法人ホームページの運用・更新【edogawayujinkai.or.jp】

#### (3) 機関誌“遊歩道”の発行

読者の投稿をはじめ、法人内の各事業所の活動報告・月ごとの予定表などを掲載しました。

### 5. 労務管理

社会保険労務士と連携し、労働者の権利が守られる働きやすい職場作りに取り組みました。

# 前年度活動報告② 2021年度

## 悠遊舎えどがわ 地域活動支援センターⅢ型

### 1. 事業実績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

開所日数：249日／開所日：月～金曜日(10～17時)／登録者数：72人

利用延べ人数：1,740人(1日平均：6.9人)／年間電話相談件数：1,496件(1日平均：6件)

年間総事例実数：77

その内、継続的支援があった事例数：64

継続的支援期間中に診療以外の医療・福祉サービスを受けていなかった事例数：14

### 2. 事業内容

新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用・手洗いうがい・消毒・パーティションの設置・ソーシャルディスタンスを徹底し、以下の活動を行いました。

#### 【グループワークを主とした活動】

- ①ミーティング：毎日2回実施しました。
- ②年間行事：日帰り旅行・誕生会・<sup>いちご</sup>莓狩り・卓球などを行いました。
- ③昼食会：毎日実施しました。
- ④プログラム活動：運営会議で予定表を作成しています。季節の行事や新たな提案もプログラムに盛り込み、実施しています。
- ⑤音楽の会(青首あひる)：毎月3回(土曜日)実施しました。
- ⑥茶話会：メンバーのニーズや日常の悩み、病状等を共有し合い、Ⅲ型独自のグループの成長を図りました。

#### 【その他の活動】

- ①個別支援：希望に応じて個別相談や送迎、福祉事務所や病院・不動産会社への同行、家計や服薬のお手伝い等を実施しました。また、集団の中で過ごすのが難しい方や来所が難しい方への声かけ等も意識して実施しました。
- ②各種事業者との連携
  - a) グループホーム・ケアホーム、生活訓練・生活介護施設、福祉事務所や医療機関等と必要に応じて情報の共有や会議への参加、役割分担などを行いました。
  - b) 病院スタッフ・相談支援事業所と連携し、入院中の方が日中の活動場所での体験ができるよう、また、退院の動機や退院後の生活イメージづくりの一助となれるよう、見学者の受け入れを行いました。
  - c) 行政や関係機関の方と一緒に地活についてのありかたの検討に取り組みました。

### 3. 実施した主な行事

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 4月：いちご狩り           | 10月：柴又ドライブ、花火大会 |
| 5月：フラワーガーデン        | 11月：芋煮会         |
| 6月：東京ドームシティ        | 12月：クリスマス忘年会    |
| 7月：七夕パーティー         | 1月：初詣           |
| 8月：しまむらツアー、儲からない縁日 | 2月：いちご大福づくり     |
| 9月：ドーナツ作り          | 3月：お花見          |

# 前年度活動報告③ 2021年度

## 第二悠遊舎えどがわ 就労継続支援B型

### 1. 事業実績 (2021年4月1日～2022年3月31日)

開所日数：240日／開所日：月～金曜日 10～16時

利用延べ人数：4,338人 (1日平均：18.1人)

定員：20人／登録者数：47人

### 2. 事業内容

- ・昨年度に引き続き新型コロナウイルスの対策として、作業前の手洗い、パーテーション設置、作業を2部制(各部作業時間を1時間に短縮)とし、密にならない工夫を行った。
- ・大勢の中での作業が困難又は個別サポートが必要な方を中心に、“絆”にて作業の提供を行った。
- ・作業の提供と共に、人間関係や困りごとについてのご相談、やりくりサポート、サービス提供事業所や相談支援事業所との連携等、安心して地域で生活できるよう生活支援を行った。  
特に昨年度は、来所が中断している方、又は、困難な方が、再び来所できること・継続して来所できることを目指し、定期的な電話やメンバーの方と共同しながらの訪問を行った。
- ・2019年の第三者評価を受け、BCP作成準備、見学時記録用紙、及び運営規定の見直しを行った。
- ・3月23、24日に自衛消防訓練を行った。
- ・悠遊舎えどがわ(地活Ⅲ型)等と連携し、従来のグループワークを主とした活動を行いながら以下の活動も実施した。

#### 【レインボーハウス】

- ①ミーティング：作業やレクリエーション・近況・運営に関わる事等を雑談や冗談も交えながら、ざっくばらんに話し合った。
- ②作業：新たな作業工程の導入・受注を増やす努力・工賃計算方法の変更などにより、ほぼ毎日安定して作業を提供することができた。  
自主製品の開発(ヘアバンド、風呂敷風ボトルバッグ等)を行った。
- ③販売：新型コロナウイルスの流行のため、各種販売イベントが中止となるなか、関係機関等を中心に自主製品の注文販売を行った。また、新たな販売先とも繋がった。

#### 【喫茶「絆」】

- ・新型コロナウイルス拡大を受け、食品関係の活動を引き続き中断し、面談や会議・少人数での作業の場としての提供を行った。
- ・ピアサポート活動(買い物サポート、洗濯サポート、昼食お届けサポート)を作業の一環として取り組んだ。
- ・新型コロナウイルスへの対策を行いながら、WRAPや整体等の活動を行った。

# 前年度活動報告④ 2021年度

## 悠歩舎 地域活動支援センターⅢ型

### 1. 開所日数および利用延べ人数 (2021年4月1日～2022年3月31日)

開所日数：231日／利用延べ人数：2041人

月別の開所日数および利用延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
開所日数	21	18	22	20	17	20	21	20	19	18	14	21	231(日)	19.2(日)
利用延べ人数	170	174	209	191	173	177	179	167	168	148	113	172	2041(人)	170(人)

### 2. 活動実績

開所日：月～金曜日 10～17時

定員：特になし

登録者数：60人／1日平均利用者数：8.8人(2041÷231)

年間総事例実数：78人

- ・その内、継続的支援があった事例数：70人
- ・継続的支援期間中に診療以外の医療・福祉サービスを受けていなかった事例数：9人

### 3. 活動内容

#### (1) グループワークを主とした活動

##### ① ミーティング

- ・通常ミーティング(421回)
- ・運営会議(14回)・運営委員会(12回)、座談会0回／泉の会(利用者自治活動)0回

##### ② 年間行事(105回)

音楽活動：カラオケ15回(施設内)／バンド練習13回／ミニミニバンド練習20回(施設内)  
 スポーツ活動：ソフトバレー4回／バドミントン5回／ソフトボール5回／卓球2回／フットサル練習  
 その他：ドライブ7回、買い物ツアー5回、ゲーム5回、動画鑑賞会4回、誕生日会2回、絵しりとり2回、お見舞い、お墓参り、ボウリング、お花見、クリスマス忘年会、鉄道めぐり旅、東京タワー、銭湯、いちご狩り、大掃除等

作業：4回

※感染症対策のため中止あるいは延期：バンド出演、フットサル、江戸川区心の交流スポーツ大会、地域交流(区民まつり・もぐら祭・雇用促進フェア)以下、次ページ

③食事会：昼食会 224 回 (1,563 人)

④宿泊訓練：【日帰り】2 回（養老溪谷・幕張温泉）

⑤感染症対策：施設内での飛沫感染を防ぎ安心して利用できるよう、手洗い・消毒・検温・マスク着用を徹底し、消毒、パーティション・ビニール天幕の設置、常時換気、喫煙所の人数・時間の制限や施設内での行事開催等の対応を行った。食事をとる場合は黙食の上、会話は紙やホワイトボードによる筆談を推奨した。

※2月4日に職員1名のコロナ陽性が判明した。濃厚接触者は確認されず、2月7日～10日まで臨時閉所し（電話対応は11時～16時行）、状況を確認した。

2月14日、感染の広がり確認されず、収束と判断。当該職員1名は同居家族の感染が確認された為、その健康観察期間終了後、大事をとって2月20日まで自宅療養とした。

## (2) 個別支援

個別相談、ご自宅やグループホームへの訪問、病院や福祉事務所への同行、家計等の問題への支援、状況に応じてご家族への対応

支援内容	件数
1 福祉サービスの利用等に関する支援	276
2 障害や病状の理解に関する支援	0
3 健康・医療に関する支援	23
4 不安の解消・情緒安定に関する支援	490
5 保育・教育に関する支援	0
6 家族関係・人間関係に関する支援	46
7 家計・経済に関する支援	317
8 生活技術に関する支援	2
9 就労に関する支援	2
10 社会参加・余暇活動に関する支援	0
11 権利擁護に関する支援	1
12 その他	1,641
合計 2,798 (件)	

(3) 他機関との連携 以下、次ページ

公的機関及び区内事業所との連携（個別支援会議・サービス等利用計画相談事業等）

月別個別支援会議件数および関係機関件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
個別支援	5	1	1	3	1	2	2	0	0	2	1	1	19 (件)	1.5 (件)
関係機関	8	2	6	7	16	16	6	14	8	5	10	11	109 (件)	9.0 (件)

## 4. 課題

### 【グループワークについての考察】

悠歩舎を利用してくださるメンバーの方のニーズが高いものとしては、昼食会・ミーティングがある。利用人数 2041 名と昼食会参加者人数 1563 名を比較すると人と一緒に昼食をとることを目的として利用される方の割合が 76 % であることがわかる。

同じく利用人数 2041 名とミーティング参加人数 1947 名 (421 回) を比較すると 1 日利用につきミーティングに参加される方の割合が延べ数で 95 % であることがわかる。

グループワークとしてのねらいはあるもののメンバーの方のニーズとしては低いものとしては、運営委員会・自治活動がある。運営委員会参加者数は 14 名、自治活動実施は 0 回となっている。

レク 105 回の内訳は、外出レク 45 回、施設内レク 56 回、作業 4 回となっている。

ニーズの高いものに関してはそれが維持して行けるよう、ニーズの低いものに関しては改善していけるよう、検討が必要である。

コロナの状況が変わらないなかで、それを踏まえたうえでの“心地よく過ごせる居場所”“外出プログラムにおける居場所”はミーティング・運営会議・運営委員会を通し引き続き検討すべき重要な課題である。

グループワーク件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
レク	57	54	36	39	30	55	43	41	40	24	6	29	454	37.8
昼食会	128	139	201	148	145	139	131	118	111	110	85	108	1563	130
ミーティング	174	163	201	196	182	172	160	153	158	146	94	148	1947	162

## YSG 就労継続支援B型

### 1. 開所日数及び利用延べ人数(2021年4月1日～2022年3月31日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21	20	21	21	16	19	22	21	20	16	19	20	236(日)
利用延べ人数	364	326	320	298	228	273	326	331	331	252	273	308	3,630(人)

### 2. 2021年度活動実績

開所日：月・火・木・金・土曜日

開所時間※：10時～15時30分(最も多かった開所時間)

※全期間にわたって1～3時間の開所時間繰り上げがあった(通常は17時)。

登録者数：40人(2022年3月31日現在)

利用延べ人数：3,630人(1日平均：15.4人)

定員：20名

### 3. 活動内容

#### 【グループワークを主とした活動】

①ミーティング：毎日2回実施しました。

※コロナ感染対策として、3密を避けるために、対面して座らない、席を離す、ミーティングの時間を短縮するなどを行ない実施。

②運営経営会議：今年度は、毎月1回(計12回)実施しました。

③年間行事

5月：手打ちそばを楽しむ会(5/7)

6月：えどがわ悠人会通常総会【※書面表決】(6/17)

7月：カフェ巡り【ソラカフェ】(7/5)、ボウリング(7/26)、子ども食堂お弁当作り(7/29)

8月：カフェ巡り【かき氷】(8/30)

9月：ビンゴ大会(9/7)

10月：ビンゴ大会(10/5)、野球観戦(10/13)、カラオケレク(10/18)

11月：映画鑑賞(11/8)

12月：手打ち新そばを楽しむ会(12/3)、子ども食堂お弁当作り(12/23)、クリスマス忘年会(12/28)、大掃除(12/28)

1月：新年ビンゴ大会(1/6)

3月：釣りレク(3/14)、いちご狩り(3/26)

④昼食会：調理員を配置し、実施しました(臨時閉所日等は除く)。以下、次ページへ

⑤プログラム活動：毎月、運営経営会議で予定表を作成しています。季節の行事や新たな提案もプログラムに盛り込み実施しています。

(外出のレクはコロナの影響で例年より減っています)

⑥防災：避難・消火訓練を12月2日に“気まぐれ飛行船”にて実施しました。

避難・通報訓練を3月17日に“土の夢”にて実施しました。

#### 【個別支援を主とした活動】

①各自の個別支援計画の作成・モニタリングを実施しました。

②必要に応じ、相談支援事業所・保健師・福祉事務所・病院・訪問看護・家族等と連携(所外カンファレンス含む)して、支援体制の充実を図りました。

③随時個別相談を行い、体調管理・金銭管理計画の作成・就労支援・ステップアップ支援を行いました。

④体調を崩されている方の自宅訪問や電話による相談を行いました。

#### 【作業】

①土の夢：陶芸・その他自主製品の製作、内職作業

・陶芸：2022年3月現在で毎月第1・2・3・4土曜日及び毎月第2・4金曜日に一般向けの陶芸教室を開催しています(緊急事態宣言中は休止)。

“KURUMIRU”ショップへの出品をしています。

2021年度は、アクセサリや器を中心に売り上げを伸ばしました。

“PIPO” (ウェブサイトを利用した通信販売)に登録をしました。

・コットンパールアクセサリを商品化し、販売を開始しています。

・内職(ナイロンタオルの封入)を行っています。

②気まぐれ飛行船：カフェ・コミュニティプログラム

一般向けのカフェを月・火・金・土曜日に開いています。木曜日はカフェ清掃・試作等を行っています。

老人福祉施設と連携したコミュニティプログラム(清心苑オレンジカフェ)を毎月第3木曜に予定していたものの、実際に開催できたのは数回に留まりました。

#### コロナ関連

①1月22日に、利用者1名・職員1名、1月23日に職員1名のコロナウイルス感染が判明。濃厚接触者と判断される者はなかったが、1月24・25日を臨時閉所して状況確認をした。3名は自宅療養。残る職員はPCR検査を受けるなどの対応を行った。3名以外への感染の広がり確認されず収束。

②2月28日、職員1名のコロナウイルス感染が判明。濃厚接触者と判断される者はなかったが、3月1・2日を臨時閉所し、状況確認をした。本人は自宅療養。残る職員(一部利用者含む)はPCR検査を受けるなどの対応を行った。感染の広がり確認されず収束。

# 財産目録 2022 (R4) 年 3 月 31 日現在

NPO 法人えどがわ悠人会

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>流動資産</b>			
現金			901,461
--現金			832,231
--食事会			69,230
預金			104,666,008
--普通預金			103,353,571
--税金納付			1,312,437
<b>流動資産合計</b>			<b>105,567,469</b>
<b>固定資産</b>			
建物付属設備			18,327,044
機械及び装置			930,195
車両運搬具			3,113,860
器具備品			5,044,054
減価償却累計額			△20,043,639
--建物付属設備			△12,627,080
--機械及び装置			△911,584
--車両運搬具			△2,770,895
--器具備品			△3,734,080
敷金			2,324,968
<b>固定資産合計</b>			<b>9,696,482</b>
<b>資産合計</b>			<b>115,263,951</b>
<b>流動負債</b>			
未払金			24,500
--その他			24,500
預り金			524,114
--源泉所得税			400,814
--住民税			123,300
<b>流動負債合計</b>			<b>548,614</b>
固定負債			
<b>固定負債合計</b>			<b>0</b>
<b>負債合計</b>			<b>548,614</b>
<b>正味財産合計</b>			<b>114,715,337</b>

# 貸借対照表 2022 (R4) 年 3 月 31 日現在

NPO 法人えどがわ悠人会

(円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>		<b>流動負債</b>	
現金	901,461	未払金	24,500
--現金	832,231	--その他	24,500
--食事会	69,230	預り金	524,114
預金	104,666,008	--源泉所得税	400,814
--普通預金	103,353,571	--住民税	123,300
--税金納付	1,312,437	<b>流動負債合計</b>	<b>548,614</b>
<b>流動資産合計</b>	<b>105,567,469</b>	<b>固定負債</b>	
<b>固定資産</b>		<b>固定負債合計</b>	<b>0</b>
建物付属設備	18,327,044	<b>負債合計</b>	<b>548,614</b>
機械及び装置	930,195	<b>正味財産の部</b>	
車両運搬具	3,113,860	前期繰越正味財産	109,288,239
器具備品	5,044,054	当期正味財産増減	5,427,098
減価償却累計額	-20,043,639	<b>正味財産合計</b>	<b>114,715,337</b>
--建物付属設備	-12,627,080		
--機械及び装置	-911,584		
--車両運搬具	-2,770,895		
--器具備品	-3,734,080		
敷金	2,324,968		
<b>固定資産合計</b>	<b>9,696,482</b>		
<b>資産合計</b>	<b>115,263,951</b>	<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>115,263,951</b>

# 2021 (R3) 年度 決算書 NPO法人 えどがわ悠人会

2021年4月1日～2022年3月31日

(円)

科目	本部	悠遊舎えどがわ (地活)	第二悠遊舎 えどがわ(B型)	悠歩舎 (地活)	YSG (B型)	合計
<b>収入(収益)</b>						
地方公共団体補助金						
-運営費補助	0	8,500,000	0	8,500,000	0	17,000,000
-施設借上費補助(家賃)	0	4,890,000	4,791,000	2,603,000	4,979,000	17,263,000
-サービス推進費(基本)	0	0	4,080,000	0	4,515,000	8,595,000
民間助成金						
-社会福祉協議会	0	18,500	0	18,500	0	37,000
-共同募金会	0	220,000	300,000	300,000	300,000	1,120,000
訓練等給付費収益						
-訓練等給付(国保連)	0	0	34,688,176	0	29,627,988	64,316,164
-訓練等給付(本人負担)	0	0	111,600	0	110,551	222,151
利用者負担金収益	0	174,000	558,014	493,785	784,254	2,010,053
就労支援事業収益	0	5,175	1,076,143	2,800	1,245,852	2,329,970
受取利息	84	41	373	74	374	946
雑収益	0	169,754	688,900	196,691	966,248	2,021,593
収入合計(経常収益合計)	84	13,977,470	46,294,206	12,114,850	42,529,267	114,915,877
<b>支出(費用)</b>						
給与	1,049,750	5,696,960	13,090,084	7,238,767	17,587,557	44,663,118
賞与	0	1,032,000	2,382,058	1,238,016	2,683,389	7,335,463
諸手当	122,036	1,068,121	3,808,887	1,186,393	4,165,462	10,350,899
共済費	0	1,128,313	3,011,878	741,513	3,418,587	8,300,291
退職給付費	0	192,000	480,000	96,000	480,000	1,248,000
健康管理費	0	12,980	0	9,610	79,574	102,164
報償費	0	435,600	226,000	0	276,100	937,700
需用費						
-光熱水費	0	326,244	347,927	292,949	781,445	1,748,565
-消耗品費	770	665,731	276,352	333,664	1,045,673	2,322,190
-車両関係費	0	0	153,781	253,242	120,221	527,244
-修繕費	0	82,390	0	60,500	181,654	324,544
旅費交通費	0	1,610	38,479	5,998	57,458	103,545
役務費						
-通信費	0	459,615	318,063	112,703	255,998	1,146,379
-郵便料金	23,492	17,220	23,476	11,218	20,638	96,044
-保険料	0	33,700	94,770	135,780	205,170	469,420
-手数料	16,988	28,930	28,584	22,630	55,440	152,572
減価償却費(備品等)	0	0	335,911	208,514	1,338,826	1,883,251
食材費	0	174,000	557,106	611,613	1,456,445	2,799,164
受注開拓費	9,000	42,000	48,460	0	97,379	196,839
会議費	34,040	0	0	0	0	34,040
研修費	0	0	0	0	0	0
利用者補助	0	0	130,320	0	152,980	283,300
行事活動費	0	412,938	589,160	495,871	369,718	1,867,687
施設借上費						
-家賃	0	4,033,332	4,791,360	2,603,328	4,979,160	16,407,180
-駐車場	0	0	279,180	216,000	168,000	663,180
-管理更新料	0	840,277	0	0	134,400	974,677
広報費	587,175	0	0	0	0	587,175
委託金	1,044,891	0	0	0	0	1,044,891
諸会費	4,000	0	0	0	33,800	37,800
租税公課	0	0	0	0	39,500	39,500
支払利息	0	0	0	0	0	0
雑費	49,500	0	0	6,695	16,693	72,888
就労支援事業費	0	5,175	1,197,646	2,800	1,164,448	2,370,069
支出合計(経常費用計)	2,941,642	16,689,136	32,209,482	15,883,804	41,365,715	109,089,779
当期経常増減額	-2,941,558	-2,711,666	14,084,724	-3,768,954	1,163,552	5,826,098

# 会計監査報告 2021 (R3) 年度

運営委員各位

特定非営利活動法人 えどがわ悠人会

## 会計監査報告書

先日行いました、悠遊舎えどがわ・悠歩舎・第二悠遊舎えどがわ・YSG・本部会計の令和3年度収支決算の監査結果について報告いたします。

記

悠遊舎えどがわ・悠歩舎・第二悠遊舎えどがわ・YSG・本部会計の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの、令和3年度会計について収支決算を監査いたしました。その結果、上記決算書が公正に作成されており収支状況が適正に表示されていることを認めます。

令和4年4月26日

監事 木村利信

令和4年5月2日

監事 井口真吾



## 第3号議案

- P 17……………活動計画案①【本部】
- P 18～19……活動計画案②【悠遊舎えどがわ】
- P 20……………活動計画案③【第二悠遊舎えどがわ】
- P 21～23……活動計画案④【悠歩舎】
- P 24～25……活動計画案⑤【YSG】
- P 26～27……活動計画案⑥【悠とピア】
- ……………
- P 28……………予算案【NPO法人えどがわ悠人会】

## 第4号議案

- P 29……………役員改選(案) 2022年度

## 今年度活動計画(案) ① 2022年度

### 法人の運営

超少子高齢化と格差拡大の進行により、数十年にわたって貧困化が進み、生活支援が必要なお年寄りや障がい者・病者の方々の施設や病院への収容も大幅に増加することが予想されています。私達法人が果たすべき役割は何か、みんなで取り組んでいきましょう。今年度は計画相談事業を開始する予定です。

#### 1. 各種事業

##### (1) 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

- ①地域活動支援センターⅢ型“悠遊舎えどがわ”の運営
- ②地域活動支援センターⅢ型“悠歩舎”の運営

##### (2) 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

- ①就労継続支援B型事業所“第二悠遊舎えどがわ”の運営
- ②就労継続支援B型事業所“YSG”の運営

##### (3) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

相談支援センター“悠とピア”の運営(8月開始予定)

#### 2. 会議

- (1) 通常総会：2022年6月17日(金) 書面による表決
- (2) 運営委員会：毎月開催(開催形態に関しては、模索を重ねていく)
- (3) 運営会議等：各事業所でそれぞれほぼ月1回の開催
- (4) 事務局会議：ほぼ月1回の開催
- (5) 法人中期計画を考える会：ほぼ月1回の開催
- (6) “悠とピア”の開設準備会

#### 3. 職員研修：定期的・継続的な研修を行います

今年度からは“虐待防止及び身体拘束等の適正化”研修も定期的に行います

#### 4. 広報“利用者から表現者へ”

- (1) 映像ワークショップ：メンバー・スタッフが自ら動画を撮影・編集し、記録や発信ができるようになることを目的とします。
- (2) 法人ホームページの運用・更新
- (3) 機関誌“遊歩道”の発行
- (4) サボ展の開催準備

#### 5. 労務管理

社会保険労務士と連携し、労働者の権利が守られる働きやすい職場づくりに取り組みます。

## 悠遊舎えどがわ 地域活動支援センターⅢ型

### 1. 事業計画 (2022年4月1日～2023年3月31日)

開所予定日数：236日

在籍者数：72人(4月1日現在)

開所予定時間：月～金曜日 10～17時

利用予定延べ人数：1,780人(1日平均：7人)

電話相談予定件数：(当日不来所、内実員数) 1,500件(1日平均：6件)

年間総事例実数見込み：77

- ・その内、継続的支援が見込まれる事例数：70
- ・継続的支援期間中に診療以外の医療・福祉サービスを受けていないことが見込まれる事例数：15

### 2. 全体の方針

新規利用者にとっての受容性が高く、生活を支える役割がある交流室機能と、面接・電話・訪問による相談機能の両機能を軸とした長期にわたる持続的・断続的な支援を行うことにより、様々な状況やニーズに応じた活動をする。

- ・運営委員会や運営会議、ミーティングの中で第二悠遊舎えどがわ(B型)と協同しつつ、また、独自にも活動内容を点検及び課題を改善しながら、従来の活動に加え新しい活動を模索していく。
- ・安心して通所・交流・休息できる場を運営する。
- ・本人の希望に応じた個別支援の実施。以下、次ページへ

- ・昨年に引き続き、行政や関係機関の方々と一緒に、地活のあり方に取り組む。  
〔区内の他法人の地域活動支援センター(Ⅰ型・Ⅱ型・Ⅲ型)と連携しながら市区町村補助金部分の支援が現在まで担ってきた役割と今後果たすべき役割を明確にする〕
- ・個別給付サービスにつながりにくい方の支援。
- ・病状、近況(雑談等)、金銭を含めた生活相談。
- ・ご家族や本人の環境へのアプローチを行う。
- ・入院中の方の見学受け入れ、地域移行のサポート。
- ・計画相談との連携強化。
- ・受給者証をもてない方の受け入れや、来所しづらい方への声掛けを行う。
- ・昨年に引き続き新型コロナウイルス感染防止に向けた運営の在り方の検討。
- ・特に日中活動の充実と個別支援の両立を意識し、グループワークを主として、メンバーとスタッフが協力して以下の事業を行なう。

①ミーティング：毎日2回。

②年間行事：お花見・旅行(日帰り及び宿泊)・誕生会・忘年会等。

③昼食会：月～金曜日。

④音楽の会(青首あひる)：毎月3回・土曜日 10:30～12:30。

⑤プログラム活動の実施：運営会議にて希望を募り、活動を行う。

⑥防災訓練：第二悠遊舎えどがわ(B型)と協同して行う。

⑦茶話会：月1回。

## 第二悠遊舎えどがわ 就労継続支援B型

### 1. 開所計画 (2022年4月1日～2023年3月31日)

開所予定日数：236日／定員：20人／登録者数：45人(2022年4月1日現在)

開所予定時間 【レインボーハウス】月～金：10～16時  
【喫茶「絆」】月～金：10～16時

利用予定延べ人数：4,012人(1日平均17人)

### 2. 事業計画

- ・運営委員会や運営会議、ミーティングの中で悠遊舎えどがわ(地活Ⅲ型)と協同しつつ、また、独自にも活動内容を点検及び課題を改善しながら、従来の活動に加えて新しい活動を模索してゆく
- ・第三者評価を受けることにより、よりよい環境の整備を行う
- ・防災消防訓練を行う
- ・悠遊舎えどがわ(地活Ⅲ型)等と連携し、従来のグループワークを主とした活動を行いながら、メンバー・スタッフ協同で以下の活動を行う

#### 【レインボーハウス】

ミーティング：作業やレクリエーション・近況・運営に関わる事を雑談や冗談も交えつつざっくばらんに話し合いながら、活動内容の共有と見直しを行う。

作業：個々の体調やペースに合わせて参加できること、希望される方にはできる限り提供することを目指し、作業工程の見直しを行いながら、更に安定した提供ができる様取り組む。

生活支援：安心して地域で生活できるよう、来所相談や電話相談、訪問、関係機関との連携等を組み合わせながら必要なサポートを行う。既存の制度と共に新たな支援の形をメンバーの方と共同して創造してゆく。

#### 【喫茶「絆」】

ミーティングや販売会への参加、広報・宣伝活動等はレインボーハウスと同様に行いながら、以下の独自の活動も実施する。

作業：新型コロナウイルスの予防対策を行いながら、安全な食品関係の活動の再開について模索してゆく。

緩やかに少人数で作業できるスペースとして活用すると共に、WRAPやピア活動<sup>ラップ</sup>など、メンバーの方が主体となる活動を行う。

生活支援：面談や会議のスペースとして活用する。

## 悠歩舎 地域活動支援センターⅢ型

### 1. 開所計画 (2022年4月1日～2023年3月31日)

開所予定日数：235日／利用予定延べ人数：2,350人

開所予定時間：月～金曜日 10～17時

月別の開所日数および利用予定延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均(月)
開所日数	20	19	22	20	17	20	20	20	18	19	19	21	235(日)	19.5(日)
利用予定延べ人数	200	190	220	200	170	200	200	200	180	190	190	210	2350(人)	195.8(人)

### 2. 事業計画 (2022年4月1日～2023年3月31日)

#### 年間運営方針

基本方針：主に精神障がい者の利益に寄与する

#### 重点的な取り組み

- ・所属意識が持てる居場所としての日中活動
- ・グループワーク等を通じて精神障がい者の環境を整備する支援をおこなう  
居場所に集うことで、参加者が相互に承認できる場、仲間づくり、人との繋がりを創る場、他の障害福祉サービス事業(給付事業)への通所が難しい方や、普段は仕事をされているが、仲間づくりをしたい方を受け入れていく。

#### その他(生活支援等)

- ・性差や障がい種別、収入や年齢等の区別なく、仲間をつくり、地域で安心して経済的にも安定した生活を送ることができるための支援。

#### 基礎的事業

【創作・生産活動】：芸術活動、スポーツ活動

【社会との交流】：地域交流、作業

【その他】→ 以下、次ページへ

#### (1) グループワークを主とした活動

“ともに学ぶ”：グループワークや活動を通して交わりのなかで本人は気づき、職員は本人に必要な支援について互いに学ぶ

“心地よく過ごせる居場所”

“外出プログラムにおける居場所”

##### ①ミーティング

- ・1日2回の通常ミーティング：日常の空間の中で困りごとの相談や支援を1人ではなく仲間と交わりの中で共有する。互いの様子を聞きあう。
- ・運営会議(月1回)：悠歩舎の予定や運営について話し合っ決めて。

##### ②年間行事

音楽活動：カラオケ…月1回(施設内開催あり)／バンド練習…月1回(施設内開催あり)／ミニミニバンド(施設内開催)

スポーツ活動：ソフトバレー／バドミントン／江戸川区・心の交流スポーツ大会参加

その他：ゲーム／お見舞い／お花見／海水浴／誕生日会／映画鑑賞会／クリスマス会／お祭り参加(区民まつり・もぐら祭)等

##### ③食事会：昼食会(毎日)

##### ④宿泊訓練：宿泊訓練／宿泊準備訓練(法人合同も含む)

#### (2) ケースワークを主とした活動：生活支援(障がい者相談支援事業)

- ①家計等生活技術に関する支援(金銭サポート)
- ②健康相談等健康維持に関する支援
- ③その他、本人の希望やニーズに応じて個別相談、訪問、同行等の支援を行う

#### (3) 医療福祉及び地域の社会基盤との連携と協働

公的機関及び区内福祉サービス事業所等との連携と協働  
(個別支援会議・サービス等利用計画相談事業等)

#### (4) 感染症対策

施設内での飛沫感染を防ぎ安心して利用できるよう、手洗い・消毒・検温・マスク着用を徹底し、消毒、パーテーション・ビニール天幕の設置、常時換気、喫煙所の人数・時間の制限や施設内での行事開催等の対応を行う。

以下、次ページへ

#### 機能強化事業【医療福祉および地域の社会基盤との連携強化および調整】

- ・連携と協働：ケアカンファレンスへの随時報告等
- ・地域ボランティアの育成：随時受け入れ
- ・普及啓発／差別および虐待防止：定期的な職員研修
- ・地域生活支援事業として、障害福祉サービスへつながる窓口のひとつとしての機能を果たす

### 3. 2022年度に向けて

“お世話になることがあるのが普通”という視点で2022年は事業を行う。支援そのものがより普遍的なものに近づくため地域啓発に取り組む。

具体的には、グループワークにおいて日常の空間の中で困りごとの相談や支援を1人ではなく仲間との交わりの中で共有する。互いの様子を聞きあう。

性差や障がい種別、収入や年齢等の区別なく、仲間をつくり、地域で安心して経済的にも安定した生活を送ることができるための支援をグループワーク・ケースワークを通じて行う。

- 金銭サポート…家計は人間関係や生活などに大きく左右されるという特徴にそって、ご家族や他機関(居住支援事業)等本人の身近な方との連携、共有を行う。将来的に金銭サポートに携わる人員の拡充を目指す。
- 仲間づくり…自治活動などのよりよいコミュニケーションが生まれるようなグループワークの模索
- 地域啓発、暮らしやすい人間関係の構築…社会参加の機会となるプログラムを増やして行く。地域とより自然に交流できるような環境の整備
- 当事者が経験を生かして互いに助け合える関係づくり…ミーティング・座談会など、自然な形でベテランが知恵を伝えてゆけるようなグループをつくる
- 自己表現と自信をつける居場所…バンド練習などのクリエイティブなプログラムでは、さまざまな自己表現の機会・参加の仕方(企画・実務など)が求められる。スポーツでは、他法人など交流や健康増進などの他にゲームを楽しみ、いいプレーをすることで自信をつけ、お互いのプレーを褒めあうなど、高度なチームワークを構築し、より自信をつけてゆく。

日中活動を通しての“社会参加”・所属意識を持てる“居場所”としての地域活動支援センターの役割を引き続き担ってゆく。

以上については2021年度と変わらず持続的に取り組む。2021年度に出た課題については改善してゆくよう鋭意つとめて行く。

## YSG 就労継続支援B型

### 1. 開所計画 (2022年4月1日～2023年3月31日)

開所予定日数：240日／登録者数：41人(2022年4月1日現在)

開所予定時間：月・火・木・金・土曜日(10～17時)

利用予定延べ人数：3,840人(1日平均：16人)

### 2. 事業計画

#### 【全体の方針】

- 就労訓練としての作業提供を主な活動としつつ、利用者の個別性を尊重し、一人ひとりのニーズに応じた多様な利用の仕方(来所時間、利用日数、作業時間、作業内容、作業従事頻度など)を保障する。そのために、作業提供と同時に、交流室機能、生活支援、食事提供など、一人ひとりが安心して気軽に利用できるための取り組みも重視する。

#### 【グループワークを主とした活動】

- ①ミーティング：毎日2回
- ②運営経営会議：毎月第3火曜日…年12回開催
- ③年間行事：旅行(宿泊)、忘年会、いちご狩り、お花見等
- ④昼食会(食事提供)：開所日は毎日実施…月・火・木・金・土曜日
- ⑤プログラム活動の実施：運営経営会議にて希望を募り、活動を行う
- ⑥防災・避難訓練：9月・3月の2回を予定

#### 【個別支援を主とした活動】

- ①個別支援計画の作成・モニタリング及びそれに基づいた支援
- ②関係機関との連携：必要に応じ、相談支援事業所・保健師・福祉事務所・病院・家族等と連携(所外カンファレンス含む)して、支援体制の充実を図る
- ③個別相談：必要に応じ、個別相談を行ない、体調管理・金銭管理計画の作成・就労支援・ステップアップ支援等を行う
- ④体調を崩している方への支援：自宅訪問及び電話相談

#### 【作業】

- ①土の夢：陶芸・一般向けの陶芸教室、その他自主製品の製作、内職作業  
※陶芸は自主販売(ウェブサイト等)を視野に入れる

- ②気まぐれ飛行船：カフェ・コミュニティプログラム

ホームページ等も活用し、今後より地域の皆様に親しんで利用して頂けるコミュニティカフェ・ギャラリー・ライブスペース・イベントスペース等として営業して行く。

その一環として、今年度も老人福祉施設“清心苑”と連携した“オレンジカフェ”を月1回(第3木曜日)開催する予定。

また、コロナ情勢を踏まえつつ、事業所主催のカフェイベントを再開し、お菓子の店頭販売等の取り組みを通じて、カフェスペースとしての認知の向上、顧客の開拓、工賃アップを目指す。

#### 【その他】

- ①福祉サービス第三者評価：今年度の受審を通して、更なるサービスの質向上・事業の透明性確保を目指す
- ②災害時を想定した食料の備蓄：開所時の災害遭遇に備え、帰宅困難者等に短期間最低限配れる程度の非常食を備蓄する
- ③事業継続計画(BCP)の策定準備：災害・疫病(コロナウイルスを含む)などにより緊急事態が発生した時に、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画の策定に向け準備をする
- ④消火器の買い替えを進める

# 今年度活動計画(案)⑥ 2022年度

## 相談支援センター 悠とピア 特定相談支援事業

### 1. 開所計画 (2022年8月1日～2023年3月31日)

開所予定日数：159日

開所予定時間：月～金曜日 (10～17時……18時まで勤務)

所在地：“悠歩舎”内の一室

登録予定者数：40人

利用予定延べ人数：202人(1日平均：1.2人)

月別の登録予定人数および利用予定延べ人数

月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録予定人数	5	4	4	5	5	6	6	5	40(人)
利用予定延べ人数	10	8	12	28	28	32	46	38	202(人)

### 2. 事業計画

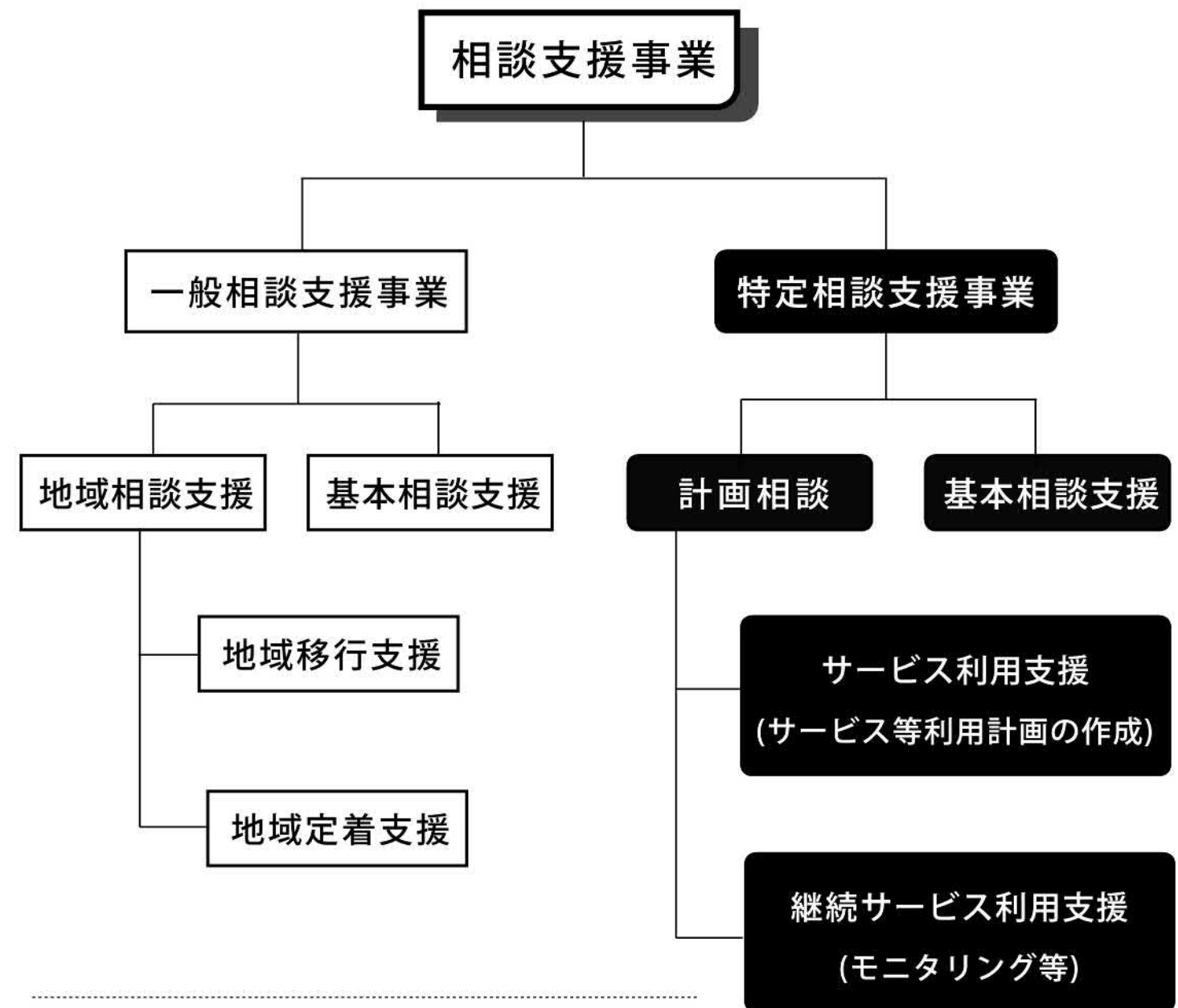
#### 【基本的方針】

- ・法人として相談支援事業を強化し、一つの基盤の事業となるように、8月より新たに特定相談支援事業を展開する(右ページ参照)。
- ・一人一人の利用者のニーズに応じ、障害福祉サービスを利用した事のない方へ他事業の体験利用等を通して、利用者の方の自信に繋がるような相談支援を行ってゆく。
- ・地域社会の中で、“自分らしい安心した生活”が送れるようにすることを目的とし、以下の事項に取り組む。

#### 【事業内容】

- ①障害者総合支援法に基づき、希望者には障害福祉サービス利用に向けた総合的な援助方針を示し、解決すべき課題を踏まえた“サービス等利用計画(案)”の作成を行う。
- ②障害福祉サービス利用後に、定期的にモニタリング等を実施し、適切なサービス利用に向けた調整・訪問・同行等の支援を必要に応じて行う。
- ③利用者のニーズに応じ、行政や福祉・就労・保健・医療機関等との連携を図ってゆく。
- ④利用者が相談しやすい支援環境を作る。温かな、様々な思いを語れる場を目指す。

## 相談支援の図



“相談支援”事業：相談支援事業全体の事をいいます

“特定相談支援”事業：相談支援事業の中の一部  
(おもに“計画相談”)のことをいいます

悠とピア

今年の8月から特定相談支援事業として、様々な相談に対応する“基本相談支援”に加え、サービス等利用計画の作成やモニタリングを行う“計画相談”を始める予定です。

# 今年度予算(案) NPO法人えどがわ悠人会 2022(R4)年度

2022年4月1日～2023年3月31日

(円)

科目	本部	悠遊舎えどがわ (地活)	第二悠遊舎えどがわ (B型)	悠歩舎 (地活)	YSG (B型)	相談支援	合計
<b>収入(収益)</b>							
地方公共団体補助金							
-運営費補助	0	8,500,000	0	8,500,000	0	0	17,000,000
-施設借上費補助(家賃)	0	4,033,000	4,791,000	2,603,000	4,979,000	0	16,406,000
-サービス推進費(基本)	0	0	4,569,000	0	5,290,000	0	9,859,000
民間助成金							
-社会福祉協議会	0	9,000	0	9,000	0	0	18,000
-共同募金会	0	220,000	300,000	300,000	300,000	0	1,120,000
訓練等給付費収益							
-訓練等給付(国保連)	0	0	32,760,000	0	31,000,000	1,590,000	65,350,000
-訓練等給付(本人負担)	0	0	111,600	0	110,000	0	221,600
利用者負担金収益	0	174,000	550,000	400,000	750,000	0	1,874,000
就労支援事業収益	0	3,000	1,100,000	50,000	1,400,000	0	2,553,000
受取利息	100	50	300	0	0	0	450
雑収益	0	10,000	76,000	0	550,000	0	636,000
<b>収入合計(経常収益合計)</b>	<b>100</b>	<b>12,949,050</b>	<b>44,257,900</b>	<b>11,862,000</b>	<b>44,379,000</b>	<b>1,590,000</b>	<b>115,038,050</b>
<b>支出(費用)</b>							
給与	1,100,000	5,330,000	14,364,960	7,230,176	17,600,000	1,680,000	47,305,136
賞与	0	672,000	3,249,192	1,098,000	3,000,000	630,000	8,649,192
諸手当	120,000	1,061,040	3,107,584	803,400	4,200,000	308,000	9,600,024
共済費	0	619,024	3,457,908	923,274	3,500,000	403,000	8,903,206
退職給付費	0	96,000	512,000	96,000	480,000	64,000	1,248,000
健康管理費	0	20,000	120,000	10,000	50,000	20,000	220,000
報償費	0	435,600	360,000	60,000	100,000	0	955,600
需用費							
-光熱水費	0	350,000	400,000	290,000	800,000	0	1,840,000
-消耗品費	0	420,000	720,000	150,000	800,000	200,000	2,290,000
-車両関係費	0	0	300,000	50,000	150,000	0	500,000
-修繕費	0	20,000	50,000	0	100,000	0	170,000
旅費交通費	11,000	3,000	50,000	20,000	65,000	0	149,000
役務費							
-通信費	0	460,000	350,000	120,000	250,000	100,000	1,280,000
-郵便料金	25,000	20,000	25,000	20,000	20,000	0	110,000
-保険料	0	33,700	124,000	140,000	210,000	0	507,700
-手数料	18,000	30,000	28,600	10,000	55,000	0	141,600
減価償却費(備品等)	0	0	335,000	208,514	1,338,826	0	1,882,340
食材費	0	174,000	557,000	600,000	1,450,000	0	2,781,000
受注開拓費	10,000	42,000	56,000	0	70,000	0	178,000
会議費	35,000	0	0	0	0	0	35,000
研修費	0	0	50,000	10,000	0	0	60,000
利用者補助	0	0	150,000	0	150,000	0	300,000
行事活動費	0	450,000	700,000	780,000	1,505,000	0	3,435,000
施設借上費							
-家賃	0	4,033,332	4,791,360	2,603,328	4,979,160	0	16,407,180
-駐車場	0	0	279,180	216,000	168,000	0	663,180
-管理更新料	0	0	0	0	134,400	0	134,400
広報費	800,000	0	200,000	0	150,000	0	1,150,000
委託金	800,000	0	489,500	0	484,000	0	1,773,500
諸会費	13,000	0	10,000	0	35,000	0	58,000
支払利息	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	10,000	20,000	50,000	80,000
備品	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業費	0	3,000	1,100,000	50,000	1,400,000	0	2,553,000
<b>支出合計(経常費用計)</b>	<b>2,932,000</b>	<b>14,272,696</b>	<b>35,937,284</b>	<b>15,498,692</b>	<b>43,264,386</b>	<b>3,455,000</b>	<b>115,360,058</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>-2,931,900</b>	<b>-1,323,646</b>	<b>8,320,616</b>	<b>-3,636,692</b>	<b>1,114,614</b>	<b>-1,865,000</b>	<b>-322,008</b>

# 今年度役員改正(案) 2022年度

## 特定非営利活動法人 えどがわ悠人会

役職名	職務	氏名	2022年度提案
理事	代表	大井 徹	再任
理事	副代表	笠 まゆ彦	再任
理事	副代表	岩崎 祥子	再任
理事	会計	田中 友子	再任
理事	相談役	梅澤 剛	再任
理事	相談役	吉澤 浩一	再任
理事	事務局長	元木 正和	再任
理事		山本 一成	再任
理事		田中 正信	再任
監事	監査	木村 利信	再任
監事	監査	井口 慎吾	再任

定款：第3章・第11条

(1) 理事7名以上

(2) 監事2名以上

※理事のうち、

1人を代表、2人を副代表、

1人を事務局長、1人を会計、

2人を相談役とする

悠遊舎えどがわ (地域活動支援センターⅢ型)

稲葉 友希	常勤 (週5日)	施設長
畠 孝実	非常勤 (週3日)	指導員
鈴岡 恵理	非常勤・兼務 (週1日)	指導員
大井 徹	非常勤・兼務 (週1日)	指導員

第二悠遊舎えどがわ (就労継続支援B型事業所)

岩崎 祥子	常勤 (週5日)	管理者・サービス管理責任者
山本 一成	常勤 (週5日)	目標工賃達成指導員
浅香 千晶	常勤 (週5日)	職業指導員
川口 諒	常勤 (週5日) ※7月末までの予定	生活支援員
早川 華子	非常勤 (週4日)	職業指導員
鈴岡 恵理	非常勤・兼務 (週1日)	生活支援員

悠歩舎 (地域活動支援センターⅢ型)

田中 正信	常勤 (週5日)	施設長
上田 夢華	常勤・兼務 (週2日)	指導員
具志堅 理美	非常勤 (週2日)	指導員
大井 徹	非常勤・兼務 (週1日)	指導員
梅澤 剛	非常勤 (月2日)	指導員
奥田 直子	非常勤 (月2日)	指導員
中里 菊美	講師 (週4日)	調理補助担当

YSG (就労継続支援B型事業所)

笠 まゆ彦	常勤 (週5日)	管理者・サービス管理責任者
田中 友子	常勤 (週5日)	生活支援員
上田 夢華	常勤・兼務 (週3日)	職業指導員
高野 由紀恵	常勤 (週5日)	職業指導員
室町 直美	非常勤 (週2日+隔週1日)	目標工賃達成指導員
若林 和正	非常勤 (週2日+隔週1日)	目標工賃達成指導員
田邊 明美	昼食時 (週5日・3.5時間/日)	調理員
八木 繁子	昼食時 (週5日・3.5時間/日)	調理員

悠とピア (特定相談支援事業) ※8月1日より勤務開始

川口 諒	常勤 (週5日)	相談支援専門員
大井 徹	非常勤・兼務 (週2日)	管理者

本部

元木 正和		事務局長
椎名 真規子		会計事務担当
早川 華子		会計事務担当

えどがわ悠人会公式ホームページ edogawayujinkai.or.jp

チャンネルUホームページ <http://u2edogawa.lomo.jp/channelu.html>

事業所一覧

● 悠遊舎えどがわ 地域活動支援センターⅢ型

132-0035 江戸川区平井 1-9-6 大徳ビル1階  
TEL & FAX: 03-5626-2998 / IP 電話: 050-1564-7807  
E-mail: u2edogawa@ybb.ne.jp

● 第二悠遊舎えどがわ 就労継続支援B型事業所

レインボーハウス (E-mail: u2edogawa@ybb.ne.jp)  
132-0035 江戸川区平井 1-6-10 チェルシー泉1階  
TEL: 03-5628-2706 / FAX: 03-5628-2707 / E-mail: u2edogawa@ybb.ne.jp

喫茶「絆」

132-0035 江戸川区平井 1-3-12 / TEL: 03-3682-6567

● 悠歩舎 地域活動支援センターⅢ型

132-0023 江戸川区西一之江 4-1-6 啓成ハイツ松江 1F-A  
TEL: 03-3654-3557 / FAX: 03-5663-1781  
E-mail: yuuhosya@ybb.ne.jp

● YSG 就労継続支援B型事業所

土の夢

132-0023 江戸川区西一之江 4-16-11 前波ビル1階  
TEL & FAX: 03-3655-7224  
E-mail: ysg@oregano.ocn.ne.jp

気まぐれ飛行船

132-0023 江戸川区西一之江 3-1-2 ライオンズマンション親水公園南102号  
TEL: 03-3656-4252  
<http://k-hikousen.com>

● 相談支援センター 悠とピア 特定相談支援事業

132-0023 江戸川区西一之江 4-1-6 啓成ハイツ松江 1F-A  
※電話番号等の詳細は8月以降にお知らせ致します